

第393号 (令和4年4月1日(金)発行)

発行所

京都女子大学 宗教部

京都市東山区今熊野北日吉町35
電話 075 (531) 7074



色うつるわしく あでやかに咲く
花に香りが ともなうように
法のことばも その身をもって
おこなってこそ はじめて薫る

ダンマバダ(五二)
京都女子大学「聖典」
一一二一〜一一三頁



本願寺と

京都女子大学

宗教部長 黒田 義道

京女生の本願寺参拝

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在学生の皆さんも、気持ちを新たに新年度を迎えられたことと思います。

例年、新入生の皆さんのガイダンス期間の行事に、本願寺(西本願寺)参拝があります。京女で学ぶことの根本的意義を確かめ、京女生として歩む決意を新たにしていたく重要な機会です。

新入生の皆さんには、仏式で行われる入学式と合わせ、本学が仏教系大

象を受けてくださる方も多いようです。それ以外にも、毎年、春・秋に本願寺の文化財の拝観と参拝の行事を行って

卒業式前日には、卒業生一同で卒業を奉告する(一)報告(二)参拝(三)報告(四)参拝を行って

本願寺の歴史

本願寺は、親鸞聖人の廟所(お墓)から発展した寺院です。

親鸞聖人(一一七三―一二六三)は、今から約八〇〇年前に京女の建学の精神である、浄土真宗という仏教を顕らかにした僧です。

二十九歳の時に法然聖人の弟子となり、阿彌陀仏という仏の願い(本願)に出会い、その願いの中にあることへの感謝に生きる人生を送りました。

人生の根底に感謝・よろこびが通底する人は幸せです。親鸞聖人の死後、聖人を慕う人々は現在の知恩院付近に廟所を設け、やがて本願寺と称するようになり

世、その教えの特色が目ざれ、親鸞聖人は浄土真宗の宗祖として仰がれるようになり

ました。現在の本願寺は、「浄土真宗本願寺派」という教団の本山(言わば本社)です。この教団には、約一万のお寺(言わば支店、事業所)が属し、その多くが地域に根ざした宗教活動を行っています。

京女大の設立と本願寺

さて、京都女子大学の歴史を遡ると、本願寺の強力なバックアップのもとで設立に至ったことが知られます。

京都女子学園は、広島県の本願寺派寺院に生まれた甲斐和里子が、一八九九年に創立した顕道女学院に淵源を持ちます。

曲折を経て、一九一〇年、本願寺派仏教婦人会連合本部(大谷篤子総裁、九条武子本部長)が経営主体となった京都高等女学校が創立されます。

この年が学園の創立年とされています。大谷篤子と九条武子は義理の姉妹で、篤子は本願寺派門主(宗派の長)大谷光瑞の妻、武子は光瑞の妹です。

学園の創立には、本願寺と深い関わりのある、これら三女性の尽力が顕著です。さらに、大学の設立に注目すると、篤子・武子が注目されます。

大学の設置する構想は、

それ以前から本願寺内にありましたが、篤子と武子は、女性の社会的地位向上のために、女子大学が必須であると改めて実感したと想像されます。

翌年、篤子が急逝すると、武子はその遺志を継承し、一九一二年に仏教婦人会連合本部の幹部に「女子大学設立趣意書」を発表し、仏教婦人会を通して寄付を募りました。

武子も各地を巡り支援を呼びかけています。京女大は無数の女性の寄付によって設立された、希有な学校であると言えます。

残念ながら、国の方針や本願寺内の事情もあり、女子大学の設立には至らず、一九二〇年、京都女子高等専門学校が設立されました。「大学」とは名乗れなかったものの、当時の女性の最高学府でした。

一九四九年、同校は新制の京都女子大学となります。このように、京女大の設立には、和里子・篤子・武子をはじめとする本願寺関係者、無数の女性の支援がありました。その歴史を振り返ることが、

京女生が本願寺にお参りする、一つの意義です。

建学の精神に触れる場

では、京女は何のために設けられた学校なのでしょう。たとえば九条武子の回想によると、大谷篤子は次のように語っていました。

「仏陀は女性に強い霊的性能を認め、男女平等機会均等に扱われたことは否定し得ない事実である。」「女性は本質的に内省し目醒めねばならぬ。内省から自覚が生まれ自覚から宗教が生る、この自覚から生れ出た

真の宗教には必ず力があり楽しみがある。仏教婦人はこの力と楽しみをもって家庭的にも社会的にも動き男子の及ばざる婦人の領分を開拓せねばならぬ。」

ここには「真の宗教」とは、浄土真宗のことです。学園・大学の設立には、浄土真宗の信仰が通底しているのです。

この信仰は、仏教を心の鏡として自らを深く省みるものです。それとともに、種々の差別をはじめ、社会を的確に批判し、解決への行動を促す側面を持つていると言えます。

二〇二〇年、京女大は第二次ワールドビジョンを策定し、その最初に「ジェンダー平等の実現に貢献できる女性を養成します」と掲げました。

これは建学の精神に根ざした目標の例です。さて、本願寺は浄土真宗における一種の聖地です。それは、親鸞聖人が示された浄土真宗の教えが本願寺を中心伝え続けられてきた歴史があるからです。

本願寺というお寺自体が、親鸞聖人とその教えを象徴する場だと言えます。京都女子学園にとつては、建学の精神を象徴する場が本願寺であるのです。

本願寺は、京女生はもとより、学園に関係する全ての方が、その建学の精神を確かめる場です。ここに京女生が折に触れて本願寺にお参りする最大の理由があるのです。

京女生としての自覚を持つて、ぜひ本願寺にお参りいたしましょう。なお、本願寺(西本願寺)と東本願寺とは、江戸時代初頭に寺内の路線対立を主因に分かれた兄弟寺院です。同じ浄土真宗ですが、別のお寺ですので混同なきように。

神を象徴する場が本願寺であるのです。

本願寺は、京女生はもとより、学園に関係する全ての方が、その建学の精神を確かめる場です。ここに京女生が折に触れて本願寺にお参りする最大の理由があるのです。

京女生としての自覚を持つて、ぜひ本願寺にお参りいたしましょう。なお、本願寺(西本願寺)と東本願寺とは、江戸時代初頭に寺内の路線対立を主因に分かれた兄弟寺院です。同じ浄土真宗ですが、別のお寺ですので混同なきように。

京女生としての自覚を持つて、ぜひ本願寺にお参りいたしましょう。なお、本願寺(西本願寺)と東本願寺とは、江戸時代初頭に寺内の路線対立を主因に分かれた兄弟寺院です。同じ浄土真宗ですが、別のお寺ですので混同なきように。

滋賀県は、交通の要衝である。その地利を生かして、中世以来、商業が盛んであった。その担い手を近江商人という。

近江商人の仕事の理念は、「売り手よし、買い手よし、世間よし」の「三方よし」とまとめられている。自身と取引相手さえよければそれでよしとするのではなく、その仕事で社会全体に喜ばれるものであることを追求しているのである。現代風に言えば「企業の社会的責任」(CSR)、あるいはSDGsにも通じる考え方であろう。

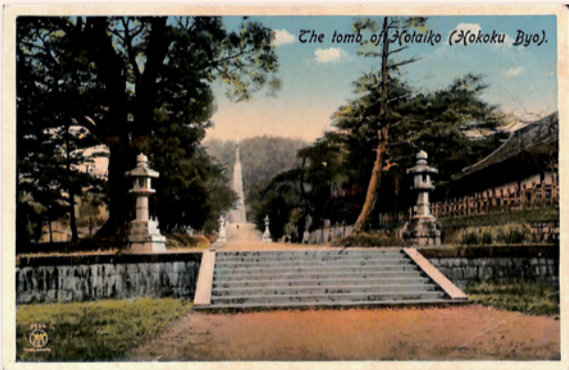
滋賀県は浄土真宗の信仰が盛んである。近江商人にも熱心な門徒(信者)がいた。「三方よし」も仏教の縁起の教えに裏打ちされた理念である。彼らの中には、仕事で得た私財を投じて郷里や有縁の地に病院や学校を寄進し、現代に至るまで喜ばれている人もいます。

そうした近江商人の一人に七代目伊藤長兵衛(一八六八―一九四一)がいる。甲斐和里子の顕道女学院を支援した人物の一人である。総合商社丸紅の初代社長で、一九二七年には、私財を投じて兵庫県に芦屋仏教会館を開設した。同会館では、現在に至るまで定期的に仏教講座が開催され、誰でも参加することができる。これほど長期にわたる取り組みは、非寺院においては希有である。

長兵衛は物質文明への偏重に危機感を持っていて。物質的豊かさだけでは、幸せは得られないというのであろう。大富豪の教えであるだけに、重みを感じられる。(義)

京女への通学路 いまむかし

①豊国廟参道入口の石段



The tomb of Hōkoku (Hokoku Byō).

一九〇〇年頃の豊国廟参道を描いた絵葉書です。妙法院と智積院の間にあった石段と灯籠、この坂道を上がり、阿彌陀が峰を登りきると、そこには豊臣秀吉の墓碑があります。豊臣家が滅び、荒れるままになっていたものを、秀吉の没後三〇〇年にあたる一八九八年、豊国会によって整備されたものです。東大路が開通し、市電が走るようになったのが一九一三年、京女が現在地に移転してきたのはその翌年でしたので、それより十五年ほど前の景色となります。

一九三〇年頃になると灯籠は鳥居の奥に移築され、南側の石垣は崩され、車道となりまわってきた。山科方面から抜けてくる車が多くなってきたことから、一九六五

(史学科・坂口満宏)



発達教育学部講師 黒原 貴仁

「変化」から得られたもの

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在学生の皆さんも、それぞれお健やかに新年を迎えられたことと思います。

健康の価値観

私は本学に着任して二年が過ぎました。改めて振り返ってみると二年前の四月、新型コロナウイルスが地球規模で拡がりをみせ、私たちの生活様式を大きく変えた年でもありました。ほとんどの授業がオンラインになり、さらに緊急事態宣言によって外出も制限される等、まさに経験したことのない変化に直面しました。感染拡大の収束は遠くない将来に訪れるかもしれませんが、三密を避けたら、オンラインで

並みに日々の楽しみを見出し、出しています。因みに、私は本学開講科目「運動と健康科学」の授業も担当しています。そもそも「健康」とは、世界保健機関(WHO)憲章の前文において「肉体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。」と定義されています。文中には「spiritual(霊的)とdynamic(動的)」という単語を使用していますが、これはイスラム医学の伝統に則り、文化的・宗教的背景に基づいた健康観を提案したものと考えられています。多くの人は健康を身体的に良好な状態をイメージしま

すが、実は「肉体的、精神的、社会的」という三つの要素で構成されています。この定義でよく問題になる点は、「完全に良好な状態」という部分で、それは理想にすぎない、完全を求めれば誰も健康ではなくなってしまふ、と批判を受けています。さまざまな考え方が、健康とは「こころ」「社会」の調和であり、自分らしく適切な意思決定ができるよう仲間と協力し、喜び合い、信頼関係を築けることだと思っています。

ノーサイドの精神

私は、主に体育授業(運動あそびを含む)に焦点をあて、多角的視点から実践的な研究を進めています。特に、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、コンピテンシーベースにおける質の高い授業の構築や、授業改善の指標提示を目指した研究を進めていきたいと考えています。前述した指針を基盤に激変する社会情勢や学校教育に臨機応変に対応しながら、係る分野に貢献ができればと考えています。

さて、私が「体育」に興味関心を持つようになったのは、高校入学時から始めた「ラグビー」がきっかけです。競技的な面白さはもちろん、何よりも仲間のためチームのために自分を犠牲にして闘う姿勢に心を奪われました。近年、マイナースポーツであったラグビーが再び盛り上がりを見せている要因として、二〇一五年、二〇一九年に開催されたラグビーワールドカップでの日本代表の活躍があります。単に日本代表の快進撃があったからではなく、国籍も文化も違う、様々なルーツを持つ選手で構成された多様な豊かな日本代表が「ONE TEAM」で日の丸を背負って戦う姿に、多くの人が感動したからだと確信しています。実に選手登録三二名中一五名が外国出身者でした。

この日本代表に対する国内の受け止め方は様々でした。なじみのない代表チームのルール、また伝統的に単一民族とみながちな日本では、同じ肌の色に黒い髪、同じ文化や慣習を持つ人こそが「本当の日本人」だと考え、それ以外の人には抵抗感を抱く人は一定数存在することも事実です。しかし、ラグビーワールドカップを通じて、日本の多様性への見方はポジティブな方向に変化したと言えるのではないのでしょうか。この変化を一度性のものでせず、大きな変化の「流行」として今後も継続し、同時に時

代表の活躍があります。単に日本代表の快進撃があったからではなく、国籍も文化も違う、様々なルーツを持つ選手で構成された多様な豊かな日本代表が「ONE TEAM」で日の丸を背負って戦う姿に、多くの人が感動したからだと確信しています。実に選手登録三二名中一五名が外国出身者でした。

ラグビー用語には、試合終了のホイッスルが鳴ったら、敵と味方、勝者と敗者の区別はなくなり、お互いの健闘を讃え合う「ノーサイド」という素晴らしい言葉があります。実はこの「ノーサイド」という言葉は海外では使用されていません。もちろん使われていないとしても試合後に互いを讃えるという文化は世界中で共通しています。が、「ノーサイド」という独自の表現が日本では今も愛されています。刻一刻と日々変化する社会情勢の中、多種多様な人々や考え方が共存する社会を「ノーサイド」に込められた精神から実現するヒントになることを期待しています。

| 日 | 曜日 | 講時 | 対象学生 | 担当 |
|----|----|----|---------|-------|
| 14 | 木 | 1 | 現社3C・3D | 禮氏・藤井 |
| | | 4 | 現社3A・3B | 川元・那須 |
| | | 1 | 食物1A・1B | 打本・井上 |
| | | 2 | 心理3 | 普賢 |
| 15 | 金 | 3 | 児童3 | 塚本 |
| | | 1 | 現社1A・1B | 西・打本 |
| | | 2 | 史学1A・1B | 内手・西山 |
| 18 | 月 | 4 | 児童1 | 黒田 |
| | | 1 | 心理1 | 藤井 |
| | | 3 | 造形3A・3B | 赤井・西 |
| | | 4 | 英文3A・3B | 森田・清基 |
| 19 | 火 | 1 | 養音1 | 野呂 |
| | | 2 | 養音3 | 小池 |
| 20 | 水 | 1 | 現社1C・1D | 那須・西山 |
| | | 2 | 教育1 | 井上 |
| | | 4 | 英文1A・1B | 塚本・川元 |
| | | 3 | 英文3A・3B | 井上・南條 |
| 22 | 金 | 1 | 造形1A・1B | 黒田・西 |
| | | 2 | 食物3A・3B | 中西・壬生 |
| | | 3 | 国文1A・1B | 中西・西 |
| 25 | 月 | 4 | 史学3A・3B | 壬生・中西 |
| | | 1 | 教育3 | 黒田 |
| | | 2 | 法学3A・3B | 普賢・西 |
| | | 3 | 国文3A・3B | 小池・中西 |
| 26 | 火 | 1 | 法学3A・3B | 普賢・西 |
| | | 3 | 国文3A・3B | 小池・中西 |
| 27 | 水 | 1 | 法学3A・3B | 普賢・西 |
| | | 3 | 国文3A・3B | 小池・中西 |

| 日 | 曜日 | 講時 | 対象学生 | 担当 |
|----|----|----|---------|-------|
| 10 | 火 | 1 | 法学1A・1B | 西・赤井 |
| | | 1 | 養音1 | 野呂 |
| 11 | 水 | 2 | 養音3 | 小池 |
| | | 1 | 現社3C・3D | 禮氏・藤井 |
| | | 4 | 現社3A・3B | 川元・那須 |
| 12 | 木 | 1 | 食物1A・1B | 打本・井上 |
| | | 2 | 心理3 | 普賢 |
| | | 3 | 児童3 | 塚本 |
| | | 1 | 造形1A・1B | 井上・南條 |
| 13 | 金 | 1 | 造形1A・1B | 井上・南條 |
| | | 1 | 造形1A・1B | 井上・南條 |
| 16 | 月 | 1 | 造形1A・1B | 井上・南條 |
| | | 1 | 造形1A・1B | 井上・南條 |

お知らせ

＊花まつり(灌仏会)＊

4月8日は仏教の開祖、釈尊(ゴータマ・シッダルタ)のお誕生日です。本学ではそのご誕生の月に「花まつり」(灌仏会)としてお祝いをします。

日時 令和4年4月13日(水) 9:00~16:30
場所 A校舎正面玄関前

芬陀利華アンケート

読んだ感想やコメントをお寄せください。(すぐに答えられるアンケートです)

法のことば

色づるわしく あでやかに咲く
花に香りが ともなうように
法のことばも その身をもって
おこなってこそ はじめて薫る

新聞『芬陀利華』のこのコーナーには「法のことば」というタイトルがついています。インドの原語「ダルマ」「ダンマ」は、ブツダの説いた教えや、そこに示された真実を表し、それが古代中国で「法」と漢訳されました。ここにあげた「ダンマバダ」の詩にも、「法のことば」という言葉が出てきますが、京大聖典ではこの「法」の語に「みち」と読み仮名がふってあります。

仏の説いた真実というと、現実の生活と乖離した高貴な事柄であると感ぜられるかもしれません。しかしそうではなく、仏を心のより所として生きる人にとり、その真実は、そのまま、日々の生活の中で歩む道となってゆきます。仏の言葉は、私たち一人一人が、自身の事柄として受け止めて歩むときはじめて、真実としての力を持つのです。

(藤井 隆道)

『縁食論』孤食と共食のあいだ

シリーズ 智慧の蔵 ④

藤原辰史著 ミシマ社 二〇二〇年

「縁食」って何？
本書のタイトルをみて思う方がきつという方が多いでしょう。私たちに馴染みがないのも無理はありません。なぜなら「縁食」とは、著者の造語だからです。

「食」といえば、最近、私がかもとも変わつたと感じることの一つです。この二年前で、外で同僚や友人・知人と食事する機会がぐっと減り、その分、家で家族と食事をする時間が増えました。また、作ることに興味を持ち、朝から弁当作りに奮闘する姿は、以前の私からは考えられないもので、食べるもの、食べることに、食べる時間と空間、そしてそれらをもつ人。人と人との間に距離を保たざるを得ない今だからこそ、あらためて感じる場所があります。

そのような中で出会った「子ども食堂」や「炊き出し」

本書は、私たちの「食」にまつわるエッセイです。「縁食」という言葉について著者は、「孤食ではない。複数の人間がその場所にいるからである。ただし、共食でもない。食べる場所にいる複数の人間が共同体意識を醸し出す効能が、それほど期待されていないからである」と説明しています。孤食ではなく、親密でもない。ちょっと立ち寄って誰かがいる。しかし、無理に話さなくていい。そんな食の形態。共存というには仰々しく、並存とよぶに相応しい。そんなゆるやかな食のあり方。それを考えた食のあり方。なぜ、そのことが今、主張されるのでしょうか。全体を貫くテーマでもある「縁食」とは、分断された社会構造を見直す著者からの一つの提案だといえます。「縁食」の例としてあげられる「子ども食堂」や「炊き出し」

は、いずれも家族や共同体の枠を越えた人と人の交わる公共空間です。また、本書では弁当と給食、食べ物の商品化、環境やゴミ、戦時下の食事、大量生産と廃棄、サードプレイス、人間の九分の一が飢餓であることなど、実は「食」を通じて、社会のあり方への問題が提起されています。それは、「食」がもつ豊かな要素と膨大な背景を伝え、人と人との多様なつながりを再構築しようとする試みともいえるでしょう。

そこにある孤食・共食として「縁食」。賛成・反対の今を考えた私たちが、大量消費社会に生きる私たちの今を考えた私たちが、本書の魅力があるように思います。

新しい季節に、本書とともに自身の生活を振り返ってみませんか。

(塚本 一真)